

御岳山に発生した特異な地震について*

名古屋大学 理学部高山地震観測所

第1図は、飛騨地方の最近1年間の震央マップである。御岳山付近には、御岳直下の地震と長野県西部地震の余震及び群発地震活動が認められる。

1988年10月4日19時から10月10日13時までの間に、高山地震観測所のイベント記録装置に、低周波成分の卓越した特異な地震が24個記録された(第1表)。初動が不明瞭なため、表1の*印の5個の地震の波形を重ねてみた(第2図)。記録はよく重なり、震源は同一と思われる。この記録から震源を決定すると、御岳山直下に震央はもとまり、深さは約4kmとなった。これら24個の地震の内、最大は10月5日18時21分の $M=0.8$ の地震であった。この低周波地震は、震央距離にして約70kmの犬山地震観測所の連続記録にも記録されており、10月5日に46個、10月6日に21個、そして10月7日に20個、数えられたが、10月8日以降は激減した。

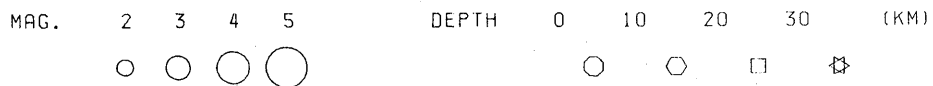
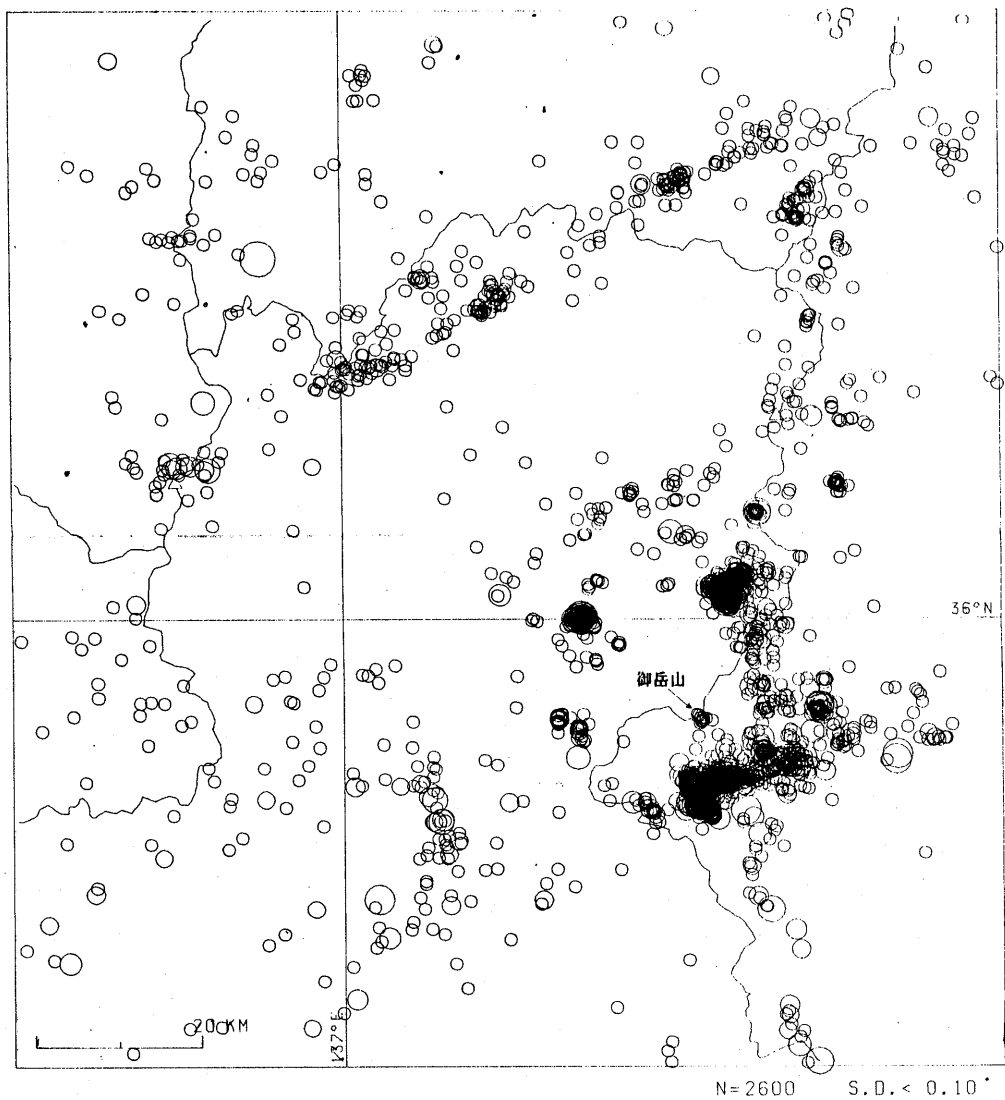
第1表 トリガー記録された地震

Table 1. List of earthquakes.

NO	DATE	TIME	NO	DATE	TIME	NO	DATE	TIME
1	10/4	19:25	9*	10/5	21:07	17	6	08:11
2	10/5	04:16	10*	5	21:34	18	10/7	02:16
3	5	05:42	11*	10/6	00:48	19	7	04:04
4	5	18:21	12	6	01:31	20	7	19:24
5	5	18:51	13	6	02:03	21	7	19:56
6	5	19:24	14*	6	02:59	22	10/9	18:28
7	5	19:56	15	6	05:58	23	9	19:14
8*	5	20:22	16	6	07:01	24	10/10	13:24

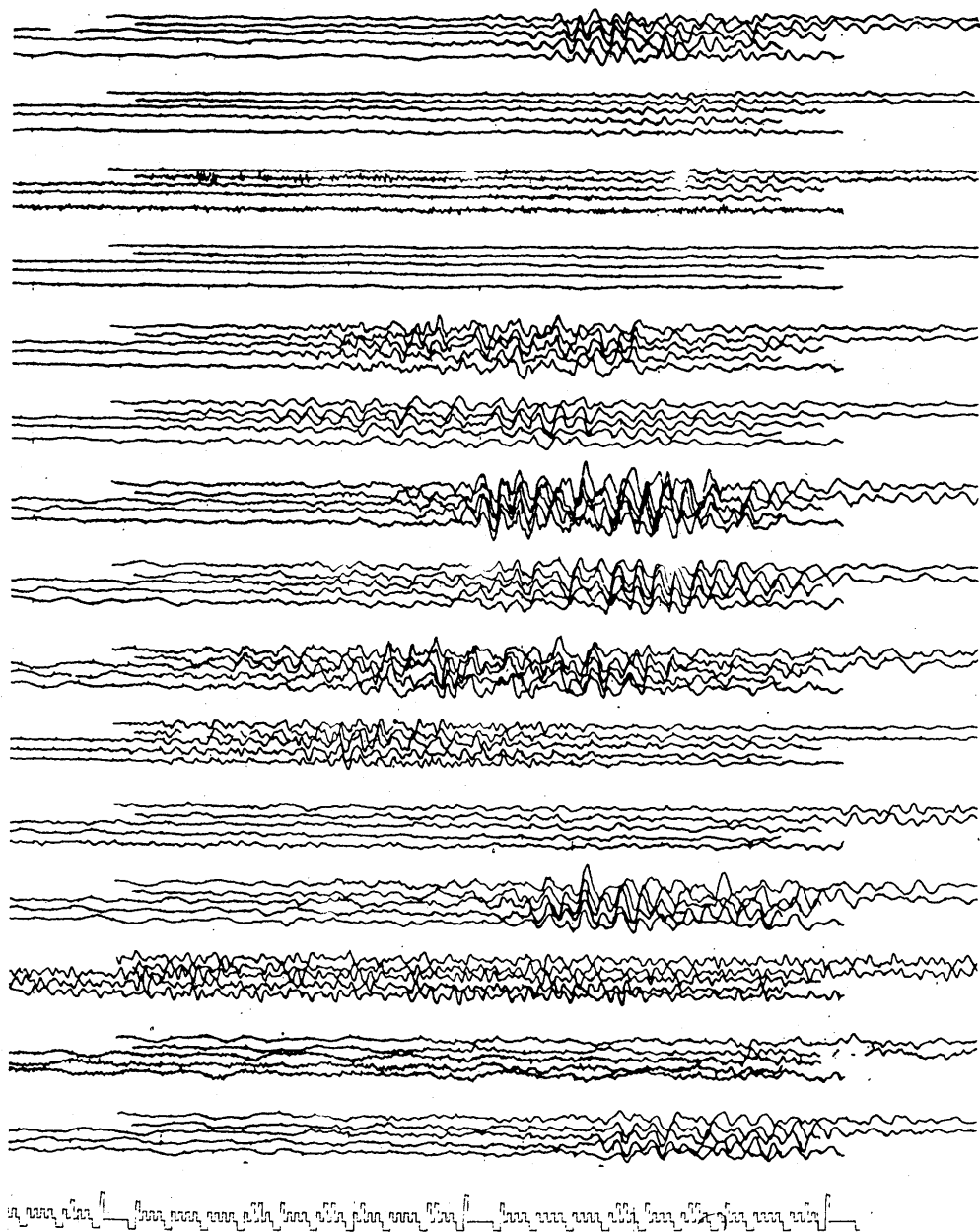
* Received Dec. 23, 1988

NOV. 1 '87 : OCT. 21 '88



第1図 飛騨地方の地震活動(1987年11月1日~1988年10月21日)

Fig.1 Seismicity in the Hida Region (Nov. 1, 1987-Oct. 21, 1988)



第2図 特異な地震波形

Fig.2 Seismograms of the peculiar earthquakes.